

先駆けを!

夢の実現におけて!

学校報

望洋

東海大学付属市原望洋高等学校

編集:メディアセンター

2022年3月19日 第145号

第36回 卒業式を挙



3月5日(土)、2021年度 第36回 卒業証書授与式を挙行しました。今年度もコロナ禍の影響で卒業生と教職員のみでの式典となりました。担任による呼名のあと代表生徒への卒業証書授与、校長告示、総長賞・生徒会功労賞・3か年皆勤賞(代表生徒)へ賞状授与、在校生代表 生徒会長による送辞、卒業生代表による答辞と続きました。最後に担任の誘導で退場し、例年に比べて短いながらも厳粛かつ暖かな雰囲気の式典を終えました。卒業生の皆さん、おめでとうございます。これからの益々の活躍に期待します。

2021年度 第36回 卒業証書授与式 答辞

卒業生代表 3年4組 上田 陵人

厳しい冬の寒さも和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じるようになりました。今日という良き日に、私たちのためにこのような素晴らしい卒業証書授与式を挙行していただき、卒業生を代表し、心より感謝申し上げます。

時が経つのは早く、東海大学付属市原望洋高等学校で過ごした日々は、昨日のこのように思われます。

着なれた制服に身を包み、足に馴染んだ革靴を履き家を出る。バスの停留所にはいつもの仲間。白い学び舎へと続く道を、真っ青なスクールバスで向かう。「おはよう」の挨拶が飛び交う昇降口を上靴に履き替え、階段を上り、教室へ。

これまで幾度となく繰り返してきた何気ないことの一つひとつが、今日はなぜか名残惜しく、胸に迫ってきます。

思い返せば三年前、真新しい制服に身を包み、これから始まる高校生活に大きな期待と不安を胸に入学式を迎えました。ふと見上げると満開の桜とそびえたつ校舎に圧倒されたことを今でも鮮明に覚えています。

入学後まもなく行われた孺恋での望洋研修。クラスの仲間と上手くコミュニケーションを図れるか不安でしたが、クラス全体で一つの目標に向かい、取り組むことで、お互いに認め合い、絆を深めることができました。先生方からの厳しくも温かい言葉の数々は、今でも心に残っています。

建学祭では、クラスの企画をより良いものにするため、朝早くから夜遅くまで、準備をしました。新型コロナウイルス感染防止のため、完全な形での開催は、一年生の時だけとなりましたが、一人ひとりが出来ることを見つけ、仲間と切磋琢磨し、最高の形を作り上げることができました。協力してやり遂げるからこそ得られる喜びと達成感は、今でも私たちの宝物です。

二年生では、新型コロナウイルスの影響がより顕著になり、自宅学習や分散登校など、変化の激しい、新しいスタイルの学校生活を余儀なくされました。楽しみにしていた沖縄での研修旅行をはじめとする多くの行事が中止になりました。

卒業生の皆さん「サウキビ畑の唄」という映画を覚えていますか。沖縄戦という悲惨な状況下の中でも、家族の絆を大切に、前向きに進もうとする姿を力強く描いた作品です。私たちはこの戦争によって起きた悲劇を二度と繰り返さないように、何が出来るかを考え、それぞれがその答えを見つけ、平和の尊さを次の世代につないでいこうと思いました。コロナ禍という予測困難な時代を生きている私たちとどこか重なるところがあるのではないのでしょうか。何気ない日常の大切さを改めて実感しています。

三年生になり、学校生活の様々な場面には、「最後の」という言葉が付くようになりました。この言葉は、学校生活の一つひとつを新たなステージとして感じさせるものでした。中でも体育祭は、何度も何度も練習し、優勝を掴み取るために、全力を尽くしたことを忘れません。先輩後輩、競技をする人、そして応援をする人、皆が一つとなりました。

部活動では、美術部に所属していた私は、日頃の活動の成果を建学祭で披露するため、三メートルを超えるモニュメントを作成しました。日が落ちるまで作業する日々が続き、逃げ出したいと思うこともありました。そのような時に、励ましの言葉をかけてくれた仲間に、心から感謝しています。部活動に入部したことは、私にとって、かけがえのない仲間の存在を気づかせてくれる貴重な経験となりました。

在校生の皆さん。卒業生として、私からのメッセージを贈らせていただきます。皆さんには、部活動や委員会活動等で大変お世話になりました。皆さんと過ごした学校生活も私たちのかけがえのない思い出です。三年間という月日は瞬間に過ぎ去ってしまいます。ぜひ、たくさんのごことに挑戦し、失敗の中から多くのことを学び、そして、達成感を掴み取って欲しいと思います。学校は、ただ知識を得るだけでなく、挑戦と失敗を繰り返し、自分自身を磨き上げる場でもあります。目標に向かい、何度も何度も辞めることなく挑戦してください。きっと、目標を達成することが出来ると思います。時には、苦難に直面することもあるかと思いますが。そのような時、周りには助けてくれる人がたくさんいます。一人で抱え込まず、相談し、たくさんの方の思いや考えに出会うことが大切です。これからも応援しています。

事務室、用務や警備の方々、食堂やスクールバスの運転手の方々、皆さまのおかげで、快適に学校生活を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

そして、私たちに、いつも寄り添い、支えてくださった家族には、感謝してもきれません。時には悩み、時には素直になれず、喧嘩をし、迷惑をかけたこともありますが、高校生活最後の日をこのように迎えることが出来ました。どうかこれからも、これまでと同様に、温かく見守ってください。よろしくお願いします。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする諸先生方、授業や部活動だけでなく、進路指導や生活指導、あらゆる場面で親身になり、指導していただきました。それらの指導のおかげで、私たちは、入学した時とは比べものにならないほど、成長したことを実感することが出来ました。本当にありがとうございました。

いよいよお別れの時となりました。私たちは今日、この学び舎を卒業し、一人ひとり新しい道へと進んでいきます。別れは名残惜しいですが、この東海大学付属市原望洋高校で得たものを胸に、夢に向かって努力し続けたいと思います。皆様方の益々のご健康とご活躍、そして、さらなる発展を心からお祈りし、答辞とさせていただきます。

二〇二二年 三月五日

第三十六回 卒業生代表 上田 陵人



各賞受賞者

総長賞	3年3組 足立 真優
生徒会功労賞	3年8組 丸島 桃香
千葉県知事賞	3年8組 岩瀬 遥
千葉県私立中学高等学校協会賞	3年8組 石井 利士



式典代表者

答辞	3年4組 上田 陵人
送辞・生徒会記念品贈呈者	2年4組 伊藤 菜々子
卒業記念品贈呈者	3年7組 松本 結花
生徒会記念品受領者	3年7組 福島 美星
同窓会資料受領者	3年1組 中村 秀斗



第20回 定期演奏会を開催（吹奏楽部）

2021年12月25日(土)、本校吹奏楽部の第20回定期演奏会を開催しました。今回も新型コロナウイルス感染防止のため、入場を部員の家族に限定し、演奏曲も厳選しました。ウエルカムコンサートに始まり、第1部はシンフォニック・ステージ、第2部はポップス・ステージ、アンコールまで入れて全9曲を演奏しました。聴衆も曲目も制限の中での演奏会でしたが最後まで大いに盛り上がりました。3年生はこの演奏会で部活動を引退します。お疲れさまでした。1・2年生部員のこれからの活躍に期待していただければ幸いです。



吹奏楽部 部長 2年1組 吉野 瑛音

2021年12月25日(土)に市原市市民会館にて「第20回定期演奏会」を開催しました。

今年度、わたしたちは「繋～翔ばそう音の千羽鶴～」のスローガンのもと、千羽鶴のように美しくどこまでも翔んでいく音を目指し、部員一同、日々練習に励んできました。新型コロナウイルス感染防止の為、時間を短縮して、第1部～シンフォニック～、第2部～ポップス～と2部構成のステージで全9曲を演奏しました。今年度も部員の家族に限定でしたが、楽しんで頂けました。そして、3年生にとっては最後となるステージ。これまでの練習の成果を十分に発揮し、最高の演奏会にすることができました。ご来場頂いた、保護者の皆様、演奏会に携わってくださったOBの先輩方、全ての皆様に感謝申し上げます。



1学年対象 知的財産講話



1月13日(木)、1年生を対象に、現代文明論の一環として「知的財産」についての基礎的知識を習得するための講演を実施しました。今回は、日本弁理士会関東支部知的財産教育支援委員会より、相田悟先生と金子正彦先生を講師にお迎えし、「知的財産(特許・発明・著作権)とは」「弁理士の仕事」などについてお話をいただきました。生徒たちは、日常のSNSで気を付けるべきことや、将来の職業にかかわる内容など、笑いを交えたお話に聞き入っていました。相田先生、金子先生、お忙しいなか、本校でのご講演ありがとうございました。

1学年対象 卒業生からのメッセージ

2月7日(月)、1年生を対象に、卒業生からのメッセージ(大学生編)を実施しました。毎年、先輩たちを招いて進路選択などの体験談や“今、やっておくべきこと”などを話してもらっています。高校に入学してほぼ1年が過ぎようとしているこの時期に、進路について考えるきっかけになったと思います。生徒達も、年齢の近い先輩たちの話に、真剣な眼差しで聞き入っていました。3名の先輩方、お忙しい中ありがとうございました。



3 学年対象 薬物乱用防止教室



2月7日(月)、3年生を対象に、薬物乱用の恐ろしさを正しく理解し、医薬品を含めた薬物に関する正しい知識を身につけることを目的に講話を行いました。例年、卒業を間近に控えた3年生に向けて行っており、今年も、市原市青少年指導センターから大西輝先生、内房地区少年センターより三縄真樹先生を講師にお迎えしました。生徒たちは、乱用による深刻な影響や医薬品の正しい使用などについて真剣に話を聞いていました。大西先生・三縄先生、お忙しい中をありがとうございました。

2 学年対象 平和学習



3月8日(火)、沖縄県平和祈念資料館とひめゆり平和祈念資料館から資料をお借りして平和学習を行いました。例年であれば研修旅行で沖縄を訪れ、戦跡や資料館をめぐって平和について考えていましたが、コロナ禍の影響で2年続けて研修旅行が中止になりました。今年度は、生徒たちに平和について考えるきっかけにしたいと思い、借用した資料を利用してミニ資料館のような展示を行いました。生徒たちは、写真資料や映像資料の展示・上映に食い入るように眼差しを向けていました。資料を見た生徒からは「戦争は恐ろしい」「戦争をしてはいけない」「今ウクライナで…」などの声を聴くことができました。沖縄の資料館の皆様、貴重な資料をお貸しいただきありがとうございました。生徒たちにとって貴重な体験となりました。



研修旅行委員 2年1組 須々田恵理

高校生活の中で、楽しみにしていた研修旅行は、コロナ禍にあって中止となってしまいました。そこで、ひめゆり資料館から展示資料を借りて『平和学習』が校内で行われました。その届いた映像や写真、ひめゆり学徒隊の方々の言葉が綴られたパネルを通して、「戦争」の残酷さが伝わって来ました。お国のためにと特攻隊員として命を落とされた人々、殺されるぐらいなら自決をと、また火炎放射器や爆弾で焼け死んだ人々のことを思うと胸が痛くなります。私の祖父も特攻隊に入るはずだったそうです。もし、特攻隊として飛んでいれば、今、私はここにいません。そう考えると奇跡だと感じます。今回の平和学習で初めて知ったことは、毎晩悪夢にうなされるなど米兵の人たちも苦しんでいたということです。「戦争」はどちらの国にもメリットなどは決していない、残酷な行為だと強く思いました。一刻も早く、世界から「戦争」がなくなることを願っています。

2 学年対象 主権者教育

3月10日(木)、市原市選挙管理委員会事務局より、板谷雄介様 濱田光希斗様を講師にお迎えして主権者教育を行いました。4月以降、誕生日を迎えた者から選挙権を持ち成人となる現2年生を対象に、主権者として政治に主体的に関わることを目的に実施しています。はじめに板谷様より、政治とどのように関わるべきか、実際の選挙とは、について講義していただき、続いて4人の教員が模擬的に千葉県知事に立候補し模擬選挙を体験しました。生徒たちは政治や選挙を少し身近に感じることができたようです。板谷様、濱田様、本校の主権者教育にご協力をいただきありがとうございました。

